

## 自己肯定感を涵養する教育の推進について

### 1 背景

- 子どもたち一人ひとりが自他のかけがえのない価値を認識しながら、多様な人びとと協働し、さまざまな分野に積極的に挑戦し、自分の可能性を伸ばすことができるようにしていくためには、自己肯定感を高めることが重要です。
- 社会の変化が激しく、将来の予測が困難な時代において、多くの子どもたちが自己の将来や人間関係に悩みや不安を抱えています。新型コロナウイルス感染症の影響により気分が落ち込んだり、友人との関係に不安を抱いたりする子どもの増加が懸念される中、依然としていじめの重大事態の発生や不登校児童生徒数の増加などが見られます。子どもたちが悩みや不安に向き合いながら、自分らしく生きることができるようにしていくためにも、自己肯定感を高めることが重要です。
- また、国の第4期教育振興基本計画（令和5年6月16日閣議決定）において、幸福感や自己肯定感などを要素とするウェルビーイングの実現をめざすことが重要であるとされており、三重県教育施策大綱（令和5年10月策定）においても、子どもたちの自己肯定感を高めることの重要性について明示しています。
- こうしたことをふまえ、令和6年3月に策定した三重県教育ビジョンでは、施策「一人ひとりの自己肯定感を涵養する教育の推進」を新たに設け、32施策の筆頭に位置づけました。

### 2 令和6年度の主な取組

子どもたちの自己肯定感を涵養するためには、子どもたちがありのままの自分が認められているという実感を持つことが重要です。

また、自己肯定感は、自分の長所のみならず短所を含めた自分らしさや個性を受け止めることによるものと、自らの力の向上に向けて努力することで得られる達成感や他者からの評価等によるものの2つの側面からとらえることが大切です。

こうした認識のもと、子どもたちの自己肯定感の涵養を図るため、お互いを認め合い支え合う学校づくりや多様な子どもの状況に応じた学びを支える指導・支援の充実に取り組むとともに、教職員の指導力の向上を図りました。

#### (1) お互いを認め合い支え合う学校づくり

子どもたちがお互いに認め合い・励まし合い・支え合える人間関係を創り上げることができるよう取り組みました。また、子どもたちの自発的・自治

的な活動を尊重し、子どもたち自身による創意工夫を引き出す取組を推進しました。さらに、安全・安心な学校づくりに向けて、子どもたちが相手の気持ちに寄り添ったり、感謝の気持ちを伝えたりする姿勢を身につけることができる取組を進めました。

＜取組例＞

- ・自己肯定感の涵養につながる学校づくり等を学ぶ研修会の実施
- ・人権学習指導資料等を効果的に活用した人権学習や子どもの人権が尊重される教育活動についての実践研究の実施
- ・いじめ予防につながる授業の実証研究の実施
- ・ソーシャルスキルトレーニングの手法を取り入れたレジリエンス教育（困難に直面した際に落ち込みや傷つきから回復する力を育む教育）の推進

## （２）多様な子どもの状況に応じた学びを支える指導・支援の充実

### ①「できた」、「わかった」という実感を得られる授業の推進

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、子どもたちが学ぶ楽しさ・わかる喜びを実感することにつながるよう、個別最適な学習と協働的な学習を適切に組み合わせた授業づくりに取り組みました。また、子どもたちが自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら自ら問いを見だし、その解決に向け深く考察し行動する探究的な学習を推進しました。

＜取組例＞

- ・自己肯定感を涵養する授業づくりを推進するモデル校の設置および効果的な取組の周知
- ・効果的な少人数指導（習熟度別指導、ティーム・ティーチング）の推進
- ・子どもたちが自らの学習内容の定着状況を確認し、目標を持って主体的に学習に取り組む意欲を育むみえスタディ・チェックの実施
- ・スーパーサイエンスハイスクール指定校の課題研究や教科横断的な学びを行うSTEAM教育、地域の産業や特色を題材にした地域課題解決型学習の推進

### ②人の役に立つことを実感できる取組等の推進

子どもたちが他者や集団、社会のために役立つことを実感できる取組や人との関わり合いの中で新しい価値を創造する取組を進めました。

＜取組例＞

- ・起業家や研究者等との交流や国内外における高い志を持つ若者同士のディスカッションなど、生徒の可能性や能力を伸長する取組の実施
- ・学校を越えて生徒が集い、社会的な課題について話し合うワークショップなど、高校生の社会参画意識を高める取組の実施
- ・人間関係の構築に苦手意識がある生徒や働くことに不安を持つ生徒への

進路相談やソーシャルスキルトレーニング、実習等の機会の充実

- ・就職実現コーディネーター及びキャリア学習支援員によるキャリアカウンセリングや企業の情報提供など就職支援の実施

### ③達成感や成功体験につながる体験活動の充実

子どもたちが達成感や成功体験を得たり、課題に立ち向かう姿勢などを身につけたりするさまざまな体験活動（自然体験活動や集団宿泊体験、社会体験活動、文化芸術活動等）の充実に取り組みました。

<取組例>

- ・部活動の運営や大会の開催など、将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保
- ・海外留学や海外インターンシップ、姉妹校提携による学校間交流、国際交流等の推進や、英語によるディスカッションやディベート等を行う機会の創出
- ・学校図書館活用アドバイザーの派遣やモデル校における県立学校図書館のリニューアルなど、子どもたちがより行きたくなる図書館をめざす取組の推進
- ・文化財体験イベントや祭りを体感するプログラムなど子どもたちが文化財の価値を理解したり、魅力に触れたりする機会の創出

### ④地域と連携した取組の推進

全ての子どもたちが質の高い教育を受けることができるよう、地域と連携しながら、家庭や学校とは異なる居場所での学習支援等を進めました。

<取組例>

- ・コミュニティ・スクールの導入・充実に向けた取組や地域住民等の参画による多様な学習支援・体験活動など地域学校協働活動の支援
- ・学校が進める人権教育について家庭・地域がともに協議や共通理解を行う人権教育推進協議会や子ども支援ネットワークの活動の活性化
- ・子どもたちが各地域で取り組んだ人権尊重の意識を広める活動の成果を発表し、自分たちにできることを話し合う「『人権が尊重される三重』をつくるこどもサミット」の実施

### (3) 教職員の指導力の向上

教職員が子どもたち一人ひとりと信頼関係を構築する力を高める取組を進めるとともに、教職員にとっても学校が幸せや生きがいを感じられる場所となることをめざす取組を推進しました。

<取組例>

- ・自己肯定感の涵養につながる学校づくり等を学ぶ研修会の実施（再掲）

- ・自己肯定感を涵養する授業づくりを推進するモデル校の設置および効果的な取組の周知（再掲）
- ・学校の指導体制・運営体制の充実や学校における働き方改革の推進

### 3 令和7年度の新たな取組

#### (1) お互いを認め合い支え合う学校づくり

- ・自己肯定感を涵養につながる学校づくり等を学ぶ研修会の実施（令和6年度から実施の自己肯定感を涵養する授業づくりを推進するモデル校事業と一部連携）
- ・市町主催の自己肯定感を涵養につながる研修の支援
- ・レジリエンス教育に継続的に取り組むことができる発展的な内容の教材開発

#### (2) 多様な子どもの状況に応じた学びを支える指導・支援の充実

- ・自己肯定感を涵養する授業づくりを推進する取組について、学校単位であったモデル校に加え、モデル中学校区、モデル地域等、広域での支援もできるように拡大し、教職員の資質向上を図るための効果的な授業づくり・学校づくりに向けた校内研修支援等の取組を推進
- ・総合的な学習の時間等において、子どもたちが学ぶ意義や、家庭での学習方法、効果的な時間の使い方について学び、実践し、振り返る授業をモデル校（2校）で実施。その際、自身や友達の成長を認め合いながら、自身の家庭での過ごし方についての計画を振り返り、改善していく場面を設定
- ・将来の生き方や職業について考えを深める契機となるよう、進学希望者が多い普通科で学ぶ生徒が、県内企業の持つ技術やノウハウを体験できる企業展を開催
- ・多文化共生社会において活躍できるよう、外国人労働者を雇用している県内企業や海外事業所を訪問し、従業員との意見交換等を実施
- ・戦争と平和に関する講演や紛争地域に暮らす同年代の海外の大学生の交流など、平和の大切さや命の尊さについて考えを深めるワークショップを実施
- ・全ての生徒が多様な学びを選択し、希望する進路を実現できるよう、多様かつ専門性の高い授業を配信するためのセンターを設置し、令和8年度からの配信に向けた遠隔授業システムを構築

#### (3) 教職員の指導力の向上

- ・教職員に向けた子どもたちのレジリエンス力を育む研修会の実施
- ・教員の在校等時間の「見える化」及びICTを活用した業務効率化の推進

#### 4 今後の対応

学校教育活動全体を通じて子どもたちの自己肯定感を涵養する教育を一層進めることにより、子どもたち一人ひとりの可能性を最大限に引き出す教育の実現をめざします。

なお、これらの取組の成果については、三重県教育ビジョンのK P I（重要業績評価指標）の達成状況と評価を報告する際に、その指標の一つとして共有させていただきます。

(参考) 自己肯定感に関する本県の子どもたちの状況

<三重県教育ビジョンのKPI (重要業績評価指標)>

1 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある子どもたちの割合

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学生	質問項目なし	質問項目なし	90.1 (▲0.9)	92.1 (+0.4)
中学生	質問項目なし	質問項目なし	87.9 (+1.1)	90.6 (+0.8)

※ () の数値は、全国平均との差

出典：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

2 自分にはよいところがあると思う子どもたちの割合

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学生	76.0 (▲0.9)	77.9 (▲1.4)	81.9 (▲1.6)	82.4 (▲1.7)
中学生	77.5 (+1.3)	79.7 (+1.2)	80.9 (+0.9)	83.8 (+0.5)

※ () の数値は、全国平均との差

出典：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

<その他の指標>

3 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う子どもたちの割合

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学生	質問項目なし	87.0 (▲0.1)	89.8 ( 0.0)	90.6 (+0.7)
中学生	質問項目なし	88.7 (+2.1)	89.2 (+1.9)	91.4 (+1.0)

※ () の数値は、全国平均との差

出典：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

4 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う子どもたちの割合

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学生	70.4 (+0.3)	73.1 (▲0.4)	76.3 (▲0.2)	74.5 (▲1.3)
中学生	77.4 (+2.7)	78.4 (+1.5)	79.4 (+1.8)	77.6 (+1.4)

※ () の数値は、全国平均との差

出典：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

5 困難だと思ふことでも、前向きに考えて挑戦している高校生の割合

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
高校生	78.8	76.9	76.0	79.4

※三重県教育委員会調べ